

1.技 術	1.3 生物処理による下廃水の処理
2.事 業 名	1.3.19 新型高速メタン発酵システムのパーム廃液への応用研究と普及
3.キーワード	メタン発酵、パーム廃液、マレーシア国
4.目 的	本事業は、パーム油原料製造工程で発生するパーム(アブラヤシ)廃液の高効率処理を目的として、本財団と(株)荏原製作所、長岡技術科学大学、マレーシア国の SIRIM、Ebara Environmental Engineering (Malaysia) Sdn. Bhd とで共同研究コンソーシアムを構成し、新たに開発された新型高速メタン発酵技術 RABR (Reversible flow Anaerobic Baffled Reactor) による実証試験プラントを GHP(Golden Hope Plantations Berhad)社内に建設し、実用化のための短期集中型共同研究を行うものである。
5.内 容	平成 18 年度は、17 年度に建設した実証試験プラントの長期連続運転を行い、COD 容積負荷量を 8kg/m ³ /日にあげても COD 除去率は 80%以上を維持できること、RABR の特徴である汚泥の供給方向の切り替えは 10 日ごとの切り替えで問題なく処理が行われることを確認した。
6.成 果	更に、運転結果をもとに当該事業の CDM 事業化の可能性について IR(10%収益率)分析により解析した。
7.参 照	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)